

# 第30期 株主通信

2025年3月期 中間報告書

(2024年4月1日～2024年9月30日)



Assuring Growth and  
Success with IT.

ITで、確かな成長と成功を。



AGS株式会社

証券コード：3648

# 社長メッセージ



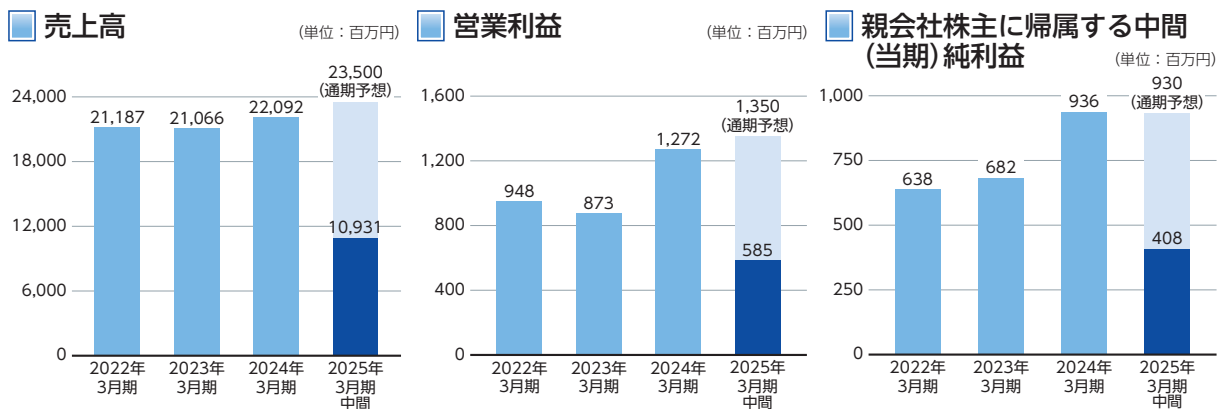
代表取締役社長 中野 真治

株主の皆様には日頃よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第30期中間株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなど各種政策の効果もあって、緩やかな回復の動きが継続しました。景気の先行きについては、欧米における高金利水準の継続や中国経済の先行き懸念等に伴う海外景気の下振れ、物価上昇、中東地域をめぐる情勢などにより、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属します情報サービス産業におきましては、地方公共団体の基幹業務システム標準化推進や、老朽化が懸念される民間企業の基幹システム刷新、及び官民を問わず、生成AIの



活用をはじめとしたデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の更なる加速が期待されております。また、組織を標的としたサイバー攻撃による被害が増加し、自社の防衛策のみならず関係する外部組織も含めたセキュリティ対策の重要性が高まっており、今後も中長期的に市場規模の拡大が継続するものとみられます。

このような経営環境の下、当社グループの第一期中期経営計画の最終年度となる当連結会計年度におきましては、ソフトウェア開発をはじめとする大型案件の確実な遂行、「さいたまiDC」による情報処理サービスやインフラ・セキュリティビジネスの拡大、及びSDGs推進による社会課題の解決に向けたDXソリューションの販売強化等に注力してまいりました。

売上面では、その他情報サービス及びシステム機器販売においてスポット案件の減少があったものの、情報処理サービス及びソフトウェア開発が堅調に推移したことから、当中間連結会計期間の売上高は10,931百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

利益面では、増収の効果はあったものの、人件費、機械費の増加などにより、営業利益は585百万円（前年同期比14.3%減）、経常利益は622百万円（同11.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は408百万円（同12.7%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

## 配当方針

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、経営基盤の強化、今後の事業の拡充、連結業績等を勘案しながら、配当性向30%を目安に、安定した利益配分を行っていくことを基本方針としております。

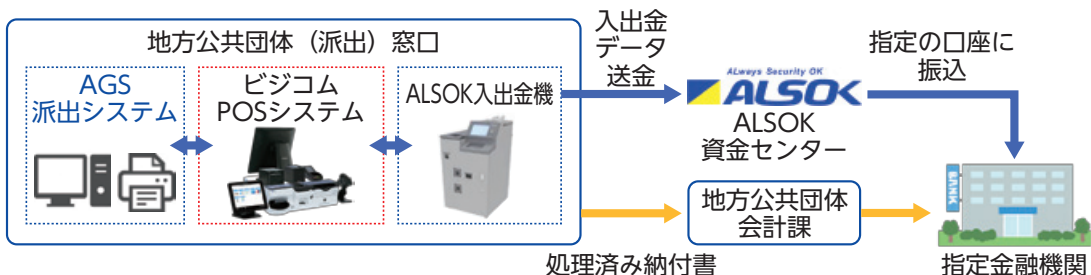
	第29期 2024年3月期	第30期 2025年3月期
中間期末	6.5円	8.0円 (実績)
期末	8.0円	8.0円 (予想)
年間	14.5円	16.0円 (予想)

## 自治体向け「派出システム」におけるビジコムとの連携開始

総合警備保障株式会社（ALSOK）との業務提携に基づき開発、提供している自治体向け「派出システム（※）（税公金受付システム）」につきまして、新たに株式会社ビジコム（以下ビジコム）との連携を、2024年4月より開始いたしました。

ビジコムの公金収納POSレジ・セミセルフレジは、埼玉県内をはじめ多くの地方公共団体様の収納業務に利用されています。今回の連携により、既にビジコムのセミセルフレジを使用中の地方公共団体様は、レジを変更することなく「派出システム」を導入いただけるなど、導入の幅が広がります。

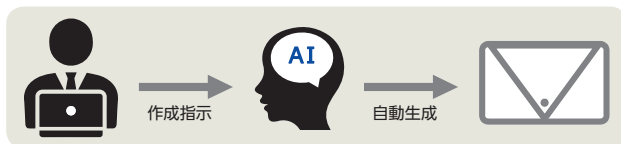
※「派出システム」は地方公共団体様の役所内に設置する派出窓口における、現金取扱い及び納付書集計等を自動化するサービスです。



## SaaS型 標的型攻撃メール対応訓練サービス「文例生成AI」機能のリリース

従前より提供しております「SaaS型 標的型攻撃メール対応訓練サービス」につきまして、2024年5月より、生成AIを活用した「文例生成AI」機能を追加いたしました。

「文例生成AI」機能は、「業種」や「文例のテーマ」等のいくつかの条件を入力するだけで、メール訓練用の文例を自動作成する機能であり、これにより文例作成の負担を軽減できるほか、昨今増加しているAIを悪用した攻撃事例の手法を模倣した訓練が可能となります。



## 死活監視サービス「クロールアシスタント」提供開始

複雑な設定や専門知識を必要とせず、Webシステムの死活監視を可能にするクラウドサービス「クロールアシスタント」を、2024年7月より、提供開始いたしました。

インターネットのWebサイトの情報を自動的に取得する「クロール」技術を活用することで、サイバー攻撃やアクセス集中などによるシステム障害を迅速に検知・通知し、お客様のWebシステムのトラブルに早期に対処することが可能となります。

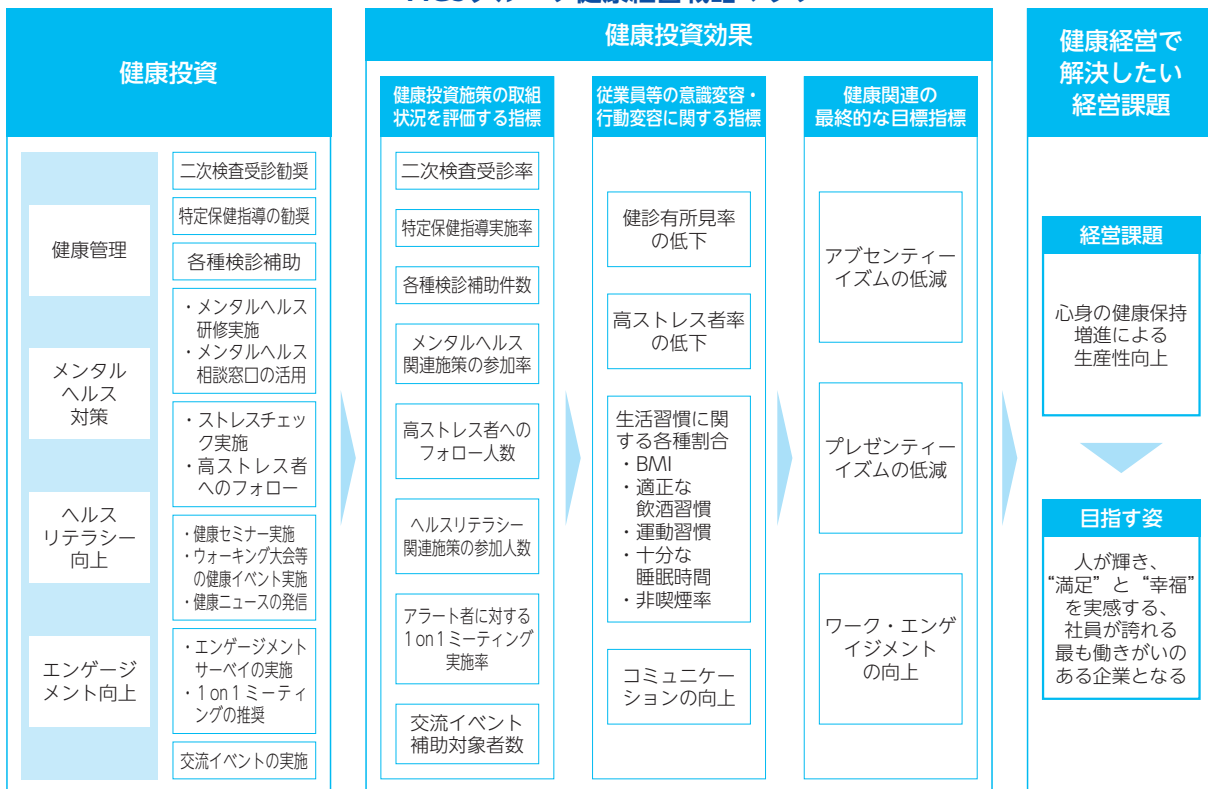


## AGSグループの健康経営への取り組み

AGSグループの健康経営を着実に推進していくため、健康経営によって解決したい経営課題とその施策を示した「健康経営戦略マップ」を策定いたしました。

AGSグループでは、社員の健康を重要な経営資源と捉え、社員個人の自発的な健康活動に対する支援と組織的な健康活動を推進することで、豊かな社会の実現に貢献することを目指しています。エンゲージメントサーベイ（従業員の満足度等の調査）や1on1ミーティングの結果を踏まえた施策の推進、健康セミナー・健康イベント開催によるヘルスリテラシー向上などを推進し、「人が輝き、“満足”と“幸福”を実感する、社員が誇れる最も働きがいのある企業となる」ことに取り組んでおります。

### AGSグループ健康経営戦略マップ



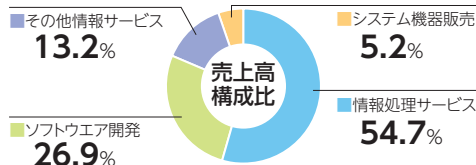
※アブセンティーズム：健康問題が理由で仕事を休業・欠勤している状態

※プレゼンティーズム：欠勤には至っていないものの、健康問題が理由で生産性が低下している状態

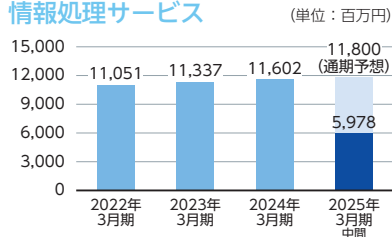
※ワーク・エンゲージメント：従業員が仕事に対してポジティブな感情を持ち、充実している状態

## POINT

- ソフトウェア開発における金融機関及び自治体向け大型案件増加
- 情報処理サービスにおいては、金融機関向け運用業務受注増加などにより堅調であった一方、データセンターにかかる人件費、機械費、修繕費の増加などにより減益



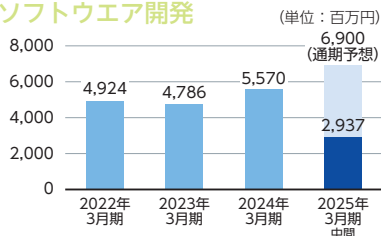
## 情報処理サービス



情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリー等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

金融機関向け運用業務の受注増加などにより、売上高は5,978百万円（前年同期比1.9%増）となりましたが、データセンターにかかる人件費、機械費、修繕費の増加などにより、セグメント利益は987百万円（同1.7%減）となりました。

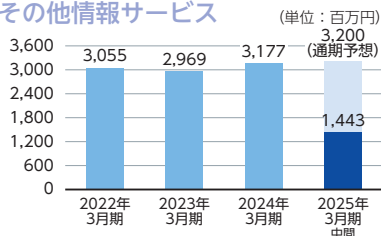
## ソフトウェア開発



ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティングに始まり、アプリケーション・ソフトの受託開発やネットワークの設計・構築をトータルに提供しております。

金融機関、及び自治体向けの大型案件増加などにより、売上高は2,937百万円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益は377百万円（同16.5%増）となりました。

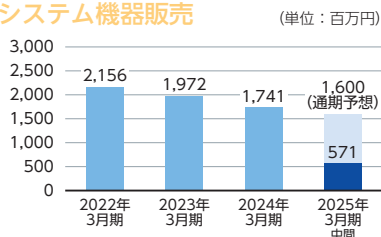
## その他情報サービス



その他情報サービスでは、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

金融機関向けパッケージソフト販売が増加したものの、自治体向けネットワーク環境構築案件の減少などにより、売上高は1,443百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は202百万円（同24.3%減）となりました。

## システム機器販売



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

自治体向け機器販売の減少などにより、売上高は571百万円（前年同期比18.5%減）、セグメント利益は10百万円（同30.1%減）となりました。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当中間期末 (2024年9月30日)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	11,218	10,538
固定資産	9,602	9,194
有形固定資産	5,349	5,167
無形固定資産	1,517	1,378
投資その他の資産	2,735	2,649
<b>1 資産合計</b>	<b>20,820</b>	<b>19,733</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	4,912	3,905
固定負債	2,055	1,878
<b>2 負債合計</b>	<b>6,968</b>	<b>5,784</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	12,929	13,067
資本金	1,431	1,431
資本剰余金	506	506
利益剰余金	11,413	11,496
自己株式	△421	△366
その他の包括利益累計額	923	881
<b>3 純資産合計</b>	<b>13,852</b>	<b>13,949</b>
負債純資産合計	20,820	19,733

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前中間期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間期 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	10,567	10,931
売上原価	7,970	8,275
売上総利益	2,596	2,656
販売費及び一般管理費	1,913	2,070
営業利益	683	585
営業外収益	50	65
営業外費用	28	27
経常利益	704	622
特別利益	—	2
特別損失	2	4
税金等調整前中間純利益	701	620
法人税、住民税及び事業税	233	166
法人税等調整額	△0	45
中間純利益	468	408
親会社株主に帰属する中間純利益	468	408
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—

### 1 資産合計

受取手形、売掛金及び契約資産が前連結会計年度末比510百万円、現金及び預金が341百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比1,087百万円減少して19,733百万円となりました。

### 2 負債合計

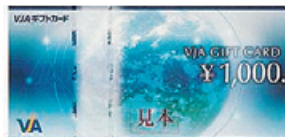
未払金等のその他流動負債が前連結会計年度末比476百万円、買掛金が300百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比1,183百万円減少して5,784百万円となりました。

### 3 純資産合計

剰余金の配当135百万円のうち、親会社株主に帰属する中間純利益408百万円の計上などにより、前連結会計年度末比96百万円増加して13,949百万円となりました。

# 株主優待制度

保有株式数	継続保有期間	優待内容
2単元株(200株)未満	—	対象外
2単元株(200株)以上	1年以上	VJAギフトカード 1,000円分
		QUOカード 1,000円分
5単元株(500株)以上	1年以上	VJAギフトカード 2,000円分
		QUOカード 2,000円分
	3年以上	VJAギフトカード 3,000円分
		QUOカード 3,000円分
10単元株(1,000株)以上	1年以上	VJAギフトカード 3,000円分
		QUOカード 3,000円分
	3年以上	VJAギフトカード 5,000円分
		QUOカード 5,000円分



優待基準日:3月末日 贈呈時期:6月頃



優待基準日:9月末日 贈呈時期:12月頃

※保有1年以上とは、毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して5回以上記載されていることといたします。  
 ※保有3年以上とは、毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して13回以上記載されていることといたします。

株主の皆さまの  
声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスキー入力後に表示される  
アンケートサイトにて  
ご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから  
カメラ機能で  
QRコードを読み取り

QRコードは、  
株式会社デジタルウェブ  
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝を進呈させて  
いただきます。

本アンケートは、  
株式会社プロネクサスの提供する  
「コエキク」サービスにより  
実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ  
「コエキク事務局」  
☒ koekiku@pronexus.co.jp

## 株主総会資料の電子提供制度

会社法改正により株主総会資料の電子提供制度が開始され、2023年3月1日以降に開催される株主総会から、株主総会資料が原則ウェブ化となりました。

2023年3月期定時株主総会の招集に際しては、電子提供制度1年目であるため、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に従来と同様の書面をお送りしましたが、制度2年目となる2024年3月期からは電子提供措置をとり、事業報告の一部のみをお送りしております。その他につきましては当社ホームページ及び東京証券取引所ウェブサイトへ掲載しておりますので、書面での送付は廃止いたしました。

なお、引き続き株主総会資料について書面による送付を希望する株主様は、書面交付請求のお手続きをお願いいたします。

三菱UFJ信託銀行株式会社サイト  
「電子提供制度について」

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



前回のアンケートでは、多数のご回答ありがとうございました。皆様からの貴重なご意見につきましては、今後も本誌作成の改善に活用させていただき、内容の充実にも努めてまいります。

### 会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	AGS株式会社 AGS Corporation
設立	1971年7月
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：3648
資本金	1,431百万円
事業内容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従業員	連結 1,079名
本社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦和ソリューションセンター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザー株式会社

### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先及び電話照会先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	当社ホームページ ( <a href="https://www.ags.co.jp/">https://www.ags.co.jp/</a> ) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
お取扱窓口	お取引の証券会社等
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

## AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25  
TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337  
<https://www.ags.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。